

第62回東京矯正管区教誨師研修栃木大会

- 1 実施年月日 令和元年6月5日(水)～6日(木)
- 2 会 場 東京都港区 明治記念館
- 3 参加者 教誨師 231名 矯正施設関係者 66名 その他関係者 72名
計 369名
- 4 主 題 「安らぎの心を求めて」
副 題 「宗教教誨に求められること」

5 講 演

東京矯正管区長 島 孝 一 氏

「矯正の現状」

社会犯罪学者 北 芝 健 氏

「犯罪心理学とプロファイリング」

6 パネルディスカッション

「教誨師に求められること」

司 会 東京拘置所教誨師

若 狭 一 廣

パネラー 多摩少年院教誨師

佐 藤 秀 仁

愛光女子学園教誨師

喜代多 證 顕

府中刑務所教育専門官

谷 澤 正 次 氏

8 研修成果

本大会においては、昨今の社会情勢と矯正の現状を踏まえた上で、教誨師に求められることを参加者全員で追及・検討するために、統一テーマ「教誨師に求められること」のもとパネルディスカッションとグループディスカッションを組み合わせ、教誨師と矯正施設職員が一体となって討論することを試みた。



特に、グループディスカッションについては十分に討議ができるよう時間配分を調整し、そのグループ編成に当たっては、教誨師の教宗派の偏り及び施設職員の所属施設や役職に偏りが出ないように、細心の注意を払って準備した結果、アンケートにおいては、その結果に満足を表明する意見が多数得られた。



参加者相互の交流が深まり、教誨師相互及び教誨師と矯正施設職員がこれからの教誨と教誨師に求められることを共に考え、互いの想いを分かち合えたという手応えを得られた研修会であった。